

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

第7期の活動もいよいよ終盤。今年1年間の集大成として、仮想プロジェクト「プレゼンテーション発表会」を成功させるために各班それぞれの持ち味を活かし、全力で臨みました。その実践講義と発表会当日の様をお伝えいたします！！



仮想プロジェクト④「プレゼンテーション実践」



他班のプレゼンを真剣に聞くメンバー

「仮想プロジェクト」は、5～6人のグループで提示された課題の解決方法を立案し、プレゼンテーションまでを実践するという5回シリーズの講義です。9月から5班に分かれて、課題に取り組んでいます。

今年度の課題 「里芋を使ったビジネスプラン」

平成27年1月27日（火）、12月に引き続き講師として一般社団法人日本経営協会の加藤奈穂子氏をお招きし、プレゼンテーションの実践講義が行われました。来月はいよいよ本番！そのためか全員どことなく緊張した面持ちで臨んでいたように感じました。

今年度の課題である、里芋をどのように使い、ビジネスプランとして成立させるか。9月からどの班も何度も打合せし、試行錯誤を重ねてきました。今回は本番と同じようにプレゼンテーションを実践し改善を行うために、講義は本番と同じ会場である多目的ホールの中で行いました。各班の発表に対し、加藤講師が1枚1枚のパワーポイントごとにアドバイスをくださいました。また、プレゼンテーションを行うにあたり大事なポイントを教えていただきました。

- ① プレゼンテーションを受ける相手の期待に応える
- ② 自分たちの前にプレゼンテーションを行う班と重複する部分を省略する
- ③ パワーポイント資料の見やすさ、色、バランスを確認する
- ④ わくわく感が伝わってくる、ノリノリで聴けるプレゼンテーションにする

すべての班のプレゼンテーションを終えた後は、今回指摘を受けたことについて班ごとに再検討や修正を行いました。講師からの的確な指摘・アドバイスを受けたことで、各班とも本番ではさらに高いレベルのプレゼンができるのではないかと感じました。（担当：亀田・坂本）



講師からアドバイスをもらう様子

【各班のテーマ】

- 1班 THE もったいない作戦
- 2班 さといもで祝う♡Birthday
～大野さといもは海を越えて～
- 3班 もっと気軽に！大野の里芋
- 4班 大野のサトイモを福井の名産品に！
- 5班 ライフスタイルにさといもを！

ふくい女性ネット（第7期）参加企業：ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイビックス
株式会社大津屋
株式会社信越マグネット
株式会社東洋アライアンス
福井県
学校法人福井仁愛学園
福井鋸螺株式会社
松文産業株式会社

株式会社アスワ村田製作所
株式会社 GAIA
株式会社 SHINDO
永森建設株式会社
（公財）福井県文化振興事業団
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT
ミリオン協同組合

株式会社エイチアンドエフ
勝山市
第一織物株式会社
株式会社ネスティ
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ブリッジ
（30社 50音順）

越前町
株式会社キタジマ
NPO 法人男女平等推進協会えちぜん
福井赤十字病院
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
北陸電力株式会社福井支店



仮想プロジェクト⑤「プレゼンテーション発表会」



私たちの1年間の研修成果を仮想プロジェクトで表現する「プレゼンテーション発表会」が、平成27年2月20日（金）、ユー・アイふくい 多目的ホールにて開催されました。

里芋畑の現地見学から始まった今年度の仮想プロジェクト。審査員である（株）電通の林信貴氏から難しいテーマであるとコメントがありましたが、発表日当日のメンバーの顔は緊張しながらも笑顔が溢れ、はつらつとした様子が印象的でした。

5つの班の発表は、それぞれが違った視点で展開し、各班の持ち味を活かしたビジネスプランをPRすることができました。

特に今年は里芋を使ったシュークリームやシフォンケーキ、スープの試食品を作ったり、寸劇やのぼり旗を使ってのパフォーマンスがあつたりと、味覚、聴覚、視覚を刺激する工夫を凝らし、とても楽しいプレゼンテーションとなりました。

各班の発表後は、審査員の方々から質問やアドバイス、そして労いの言葉を頂きました。

普段は別々の会社で働いているメンバーですが、同じ目標に向かい、壁にぶつかりながらも何度も話し合い、納得できるプランを作り上げることができました。この間、それぞれの個性を尊重し、活かし、協力し、そして共に悩んだ時間は、私たちにビジネスプランという成果物以上の刺激と成長を与えてくれました。1年間の研修で学んだビジネススキルと出会ったメンバーとのネットワークの交流から、少しでも自分が目指す女性リーダーに近づきたいと改めて意識することができました。

（担当：西）



各班工夫を凝らした発表会の様子

<審査結果発表！！！！>



最優秀班 第3班

チューブ状の容器にいれた大野のさといもペーストを提案

「自分たちが納得できるプランを作りたい！」というメンバー共通の思いで、何度も議論を重ねました。信頼関係があるからこそ、よい議論ができること、あらためてそれに気づかせてくれたこの素晴らしい機会に心から感謝しています。

（仲野文恵リーダー）



第2位 第2班

さといもクリームを使ったシュークリームのパースデーツリーを提案

作業が進む度に6人の良い個性が引き出され相乗効果を生みました。「やってみよう」「楽しもう」という雰囲気が自然にあふれ最大限のチームワーク力が発揮できました。この経験を生かし、職場でもさらにイキイキと輝きたいです。このような機会を与えてご協力頂いた多くの方に感謝しております。

（阪井多美子リーダー）

—編集後記— 9月に仮想プロジェクトが始動してから今回の発表に至るまでの期間、日々悩みながらもメンバーと何度も議論を重ね、最終的には各班とも素晴らしいビジネスプランを立案することができました。

「未来きらりプログラム」の集大成として、学んできたスキルを今回発揮することができ、私達はこの1年間で大きく成長できたのではないかと思います。この7期メンバーでの活動も最後になりましたが、各自の職場においてもプログラムで培った経験を活かし、将来の福井を担う女性リーダーとして更なる活躍をしていくことでしよう。

この活動にご理解ご協力いただきました関係者の皆様、誠にありがとうございました。（担当：吉岡）